

令和元年6月12日(水)

帯広市長 様

社会福祉法人光寿会
理事長 森 光弘



地域密着型介護老人福祉施設アルペジオ
「稼働ベッド数20床の運営」について

1. 休止に至る経緯

アルペジオは、職員の産休・育児休暇など慢性的な職員不足であり、現在の職員数では定員29名の利用者様のお世話をする為には、残り4人の人員確保が必要です。
(勤務表参照)

5月初旬に、看護職員運営会議を開催し、職員の意見を集約したところ、

- ① 現在の職員数では、職員が疲弊する危険性が極めて高い。
- ② 入所者様に対するケアが行き届かない状況に至ることにより、結論として安全が確保されない危険性がある
という意見を確認しました。

よって、現在入所されている利用者様の安全を守るためには、定員29名としているところを定員20名で運営を行うことが最善であると考えています。

ただ、20名を3ユニットに分散すると、夜間帯のナースコール対応(夜間頻尿の方・おむつ交換及び体位交換)に間に合わず、転倒事故・褥瘡などの発生を予防できないということで、20名の方には、施設都合ではありますが、2ユニットに集約すべきという結論に至りました。

2. 現在の状況について

①病状悪化のための転院。

H様：総胆管結石にて入院しました

Y様：発熱で検査入院。偽痛風との診断を受けました。

②褥瘡の発生者が2名

最近1年間褥瘡の発生者が0名で経過していたが、5月より褥瘡発生者が2名となっています。

上記2点について、介護の質の著しい低下が要因として考えられます。



3. 指導・教育体制について

①平成31年度より未経験者が非常勤職員を含め3名採用しているが、直接指導に当たる職員も時差勤務にシフト入りしていることから、間接的な指導に留まる状況が続いていました。

②介護正職員も入職して1～2年程度の職員が占めており、施設の同系列のケアステーションアンダンテ（介護老人保健施設）より6名、ケアステーションひかり（介護老人保健施設）より1名、それぞれ人事異動による配置も実施しましたが、教育直接指導に当たるシフトを組むことができませんでした。

4. 現入所者様への処遇について

①当施設で配置していた機能訓練指導員も、介護業務の支援に入っている状況でした。そこで、この度ケアステーションアンダンテへ当該利用者に入所していただき、リハビリスタッフが提供する機能訓練をもって機能を改善していただくことを3名の利用者様にご提案差し上げたところ、同意を得ました。

②アルペジオ入所待機者の上位13名に連絡したところ、今利用している施設から退所勧告がない、在宅でも現在の介護サービスで満足しています。

5. 今後について

2か月間（7月1日～8月31日）、暫定的に一時的対策として稼働定員を20名する他、当該期間に下記活動を実施させていただきたいと考えています。

① 既存職員のケアの質の向上を図るため、当該期間に非常勤職員をケアステーションアンダンテへ出向及び研修を実施します。

② 「法人内人事異動」について

法人内職員を対象に、アルペジオ介護職異動の募集を実施します。

※7月1日よりデイサービスから入所フロアへ1名異動します。

	ワルツ	マーチ	ポルカ
A	G様 ①	K様 ⑦	K様 ⑮
B	T様 6/5入院・退所	O様 ⑧	A様 アンダンテ
C	M様 アンダンテ	T様 ⑨	N様 SS
D	I様 ②	H様 ⑩	H様 ⑯
E	K様 ③	H様 6/5入院・退所	S様 6/10～看取り
F	N様 SS	H様 ⑪	M様 アンダンテ
G	S様 ④	N様 ⑫	O様 ⑰
H	S様 ⑤	O様 アンダンテ	Y様 6/5入院⑳
J	T様 ⑥	I様 ⑬	M様 ⑱
K		Y様⑭	Y様 ⑲

6名：T様（入院、退所）、N様（SS）、N様（入院退所）、H様（入院退所）、N様（6/16SS退所）、S様（看取り予定）、Y様（入院中）

4名：アンダンテ調整希望の利用者様（全員アンダンテから入所されている方々です。）

【利用者様】

	ポルカ	タンゴ
A	K様⑮	K様⑦
B	G様①	O様⑧
C	S様⑤	S様④
D	H様⑯	H様⑩
E	K様⑨	I様②
F	K様③	H様⑪
G	O様⑰	N様⑫
H	O様⑳	Y様⑭
J	M様⑱	I様⑬
K	Y様⑲	T様⑥

※ Iの居室は有りません